

東京北医療センター 循環器内科研修プログラム

プログラムの概要

- ◆ 当科は東京北区の東京北区の全科型救急医療施設、東京CCUネットワーク施設であり、急性冠症候群はもとより、急性心不全、大動脈疾患、不整脈、肺塞栓症、心原性心肺停止等すべての循環器疾患を受け入れるべく、24時間365日体制で対応している。救急部・総合診療科・総合内科や他科専門科と連携し、毎朝カンファレンスを行い、迅速な診断・治療が可能である。循環器科ホットラインを設置し、救急車搬送台数（年間6,000台）は増加傾向にあります。症例数も急性冠症候群（70例）、心臓カテーテル件数は2008年252例、2013年326例、2018年456例と増加しています。その他経皮的冠動脈インターベンション症例数（158例）、経皮的下肢動脈拡張術（33例）、ペースメーカー植え込み術（30例）と顕著に増加しています。その他カテーテルアブレーションや電気生理学的検査も行っています（30例）。臨床研究を活発に行い、学会活動、論文作成を行うことを目標としています。循環器内科領域全般に亘る診療を経験し、日本循環器学会認定循環器専門医を取得することが可能です。
- ◆ 当病院は地域医療振興協会の運営する病院であり、離島や山村などでの総合内科的診療、包括的診療能力を持った医師の育成に力を入れてきました。循環器科全般に亘る専門的診療を行いつつ総合内科的診療能力も養えます。当院循環器内科に在籍して専門的スキルを習得しつつ、全国の僻地診療所で1週間以内の短期支援の経験も可能です。
- ◆ 現在専修医含めスタッフ4人であり、優先的に冠動脈・末梢血管カテーテル治療のオペレーターが可能です。将来当院循環器内科スタッフ、総合診療科スタッフのみならず、関連病院（横須賀市立うわまち病院、横須賀市立市民病院、伊東市立市民病院、奈良市立病院、三重県立志摩病院、東京ベイ浦安市川医療センター、練馬光が丘病院）循環器科での研修も可能です。当科に席を置き専門的スキルを身につけつつ、日本全国の僻地支援に関わることが可能であり、臨床医として誇りに満ちた臨床経験を積むことが可能です。さらに僻地支援に積極的であるなど条件を満たせば国外留学（ハワイ大学、トマスジェファーソン大学等）のサポートも可能。
- ◆ この他にも、臨床医リターンを目標として再度臨床研修を行うリフレッシュ研修や、特殊な技術を身につけて独り立ちする為に（冠動脈造影やPCI等）3ヶ月～半年程度の短期研修も随時受け付けています。初期研修期間内での施設間短期cross overも可能。



プログラムの特徴

- ◆ 優先的に介入検査・治療の術者になれる
- ◆ 非侵襲的検査（EKG・ドクト・シ・冠動脈CT・心筋ソナグラフィ）の理解
- ◆ 救急症例が豊富
- ◆ 各診療科との連携がスムーズ
- ◆ 短期へき地支援の魅力
- ◆ アフター

- ◆ 期間：内科3年+循環器3年
(内科標準タイプ)
内科3年+循環器2年
(サブスペ重点タイプ)
内科+循環器4年
(内科サブスペ混合タイプ)

得られる受験資格

- ◆ 日本内科学会専門医
- ◆ 日本循環器学会認定専門医

お申し込み・お問い合わせ

是非一度ご見学にお越し下さい！

見学は随時受付中です。

下記にご連絡ください。

- ◆ 東京北医療センター 臨床研修センター
- ◆ TEL 03-5963-3311
- ◆ FAX 03-5963-6678
- ◆ kensyu-s@tokyokita-jadecom.jp

ローテート例等は裏面へ

公益社団法人 地域医療振興協会 東京北医療センター

後期研修の行動目標

- ◆ 5年間で日本循環器学会認定循環器専門医資格を取得する。
- ◆ サブスペシャリストとして医学全般の知識にも精通する。
- ◆ 適切なインフォームド・コンセントを行うことができる。
- ◆ 社会的、精神的なケアも行うことができる。
- ◆ チーム医療において中心的な役割を果たすことができる。
- ◆ AHA-BLSやACLSを習得し、循環器救急の現場において中心的な立場で対応できる。
- ◆ 予防医学的見地からの適切な患者教育ができる。
- ◆ 聴診法、心電図、ホルター心電図、心臓超音波検査、経食道心エコー検査、心筋シンチ、心臓カテーテル検査・治療を安全に遂行する技術の習得。
- ◆ ICUにおける重症循環器疾患の管理ができる。
- ◆ Evidence based medicineに基づいた診療を行うことができる。
- ◆ 冠動脈インターベンションの基礎的な手技を習得する。

★【目標達成のため利点】

- 良好な院内連携・地域連携とアクティブな救急診療により症例が豊富であり、日本循環器学会認定専門医受験資格に必要な循環器疾患について十分な経験が積める。また常に循環器専門医の指導を受けることができる。

連携及び特別連携施設

公立黒川病院、西吾妻福祉病院、区立台東病院、あま市民病院
東通村診療所、六ヶ所村地域医療センター、女川町地域医療センター、
磐梯町保険医療福祉センター、湯沢町保健医療センター、日光市民病院、
宮代福祉医療センター、十勝いけだ地域医療センター

関連学会認定施設

◆ 関連学会

- 日本循環器学会、日本内科学会、日本心臓病学会、日本心臓リハビリテーション学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本不整脈学会その他多数。

◆ 認定施設

- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本内科学会認定施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- 東京都CCUネットワーク加盟施設

募集に関して

◆ 応募資格

- 医師免許取得後2年以上の卒後臨床研修修了または修了見込み者
- 医師免許取得後3年以上で、新たに専門分野への選考を志す者

◆ 応募手順

- 出願書類：応募申込書(別途：ダウンロードして使用)
- 応募方法：応募書類一式をご提出下さい。

◆ 病院見学

- 随時受付(土日祝日を除く)

◆ 選考方法

- 面接、書類により総合的に審査
- 計画要因に達した場合は募集を終了する

◆ 採用予定人数

- 4名(内科全体)

研修の内容

- ◆ 心臓超音波検査や経食道心エコー検査、心筋シンチグラフィ検査、トレッドミル検査等、ホルター心電図検査、カテーテル検査は、短期間に目標とする症例数を経験するため集中的に行う。卒業3年(後期研修医1年目終了時)で日本内科学会認定内科医試験資格を得、資格認定試験を受験する。
- ◆ 標準的難易度の冠動脈インターベンション、末梢血管閉塞性疾患に対するカテーテル治療の指導を受ける。IABP・PCPS挿入、一時的ペースメーカー挿入術、永久ペースメーカー治療もまた、術者として指導を受ける。能力に応じ外来治療を開始する。
- ◆ カテーテル治療、ペースメーカー治療に関しては習熟度に応じ、難易度が中等度～高度の症例にも対応できるよう手技を習得する。
- ◆ 習熟度に応じIABP・PCPSの挿入、冠動脈・末梢血管インターベンション、カテーテルアブレーション、永久ペースメーカー植え込みの技術を任せれる。循環器学会認定循環器専門医試験受験。

ローテート例(サブスペ重点研修型)

S1	循環器科	総合診療科	連携病院・特別連携病院	
S2	循環器科	連携病院・特別連携病院	消化器	血内
S3	連携病院・特別連携病院	総合診療科	呼吸器	循環器科

※内科専門医過程修了

S4	院内循環器科ローテート
S5	院内循環器科ローテート

週間スケジュール

	午前	午後
月	モーニング カンファレンス 心エコー、心筋シンチ	心臓カテーテル検査治療、心エコー 心臓カテーテルカンファレンス、内科カンファレンス
火	モーニング カンファレンス、心エコー 心臓カテーテル検査治療	心臓カテーテル検査治療、心エコー 心臓カテーテル検査治療
水	モーニング カンファレンス、 トレッドミル、心エコー	ペースメーカー手術、 カテーテルアブレーション、心エコー
木	モーニング カンファレンス、心エコー	心エコー(経食道)
金	モーニング カンファレンス、心エコー トレッドミル	心臓カテーテル検査治療 病棟カンファレンス、心エコー(経食道)
土	モーニング カンファレンス、心エコー トレッドミル(当番医)	

◆ 試験日程及び合格発表

- 本人宛にご連絡(日程調整)。面接試験後、1週間程度

◆ 応募受付：新専門医制度に準じる

- 1次：
- 2次：
- 3次：

◆ 処遇

- 給与：1年次600万円～、2年次640万円～
- 当直料別途支給有、家族手当等別途支給
- 各種保健有り
- 宿舍有り(空室状況による)